

令和3年度 経営計画書 教育部 部長 河邊正人

1 部の 使命	<p>私たち教育部は、ふるさと養父市の未来を担う人々が、学ぶ楽しみ・育てる喜びを感じられるよう、「生きる力」を育む0歳からの一貫した教育環境を、全職員が個々の能力を出し合い、市民と共に創ります。</p> <p>【評価】 【原因】 【方向】</p>
2 それ まで の経 営評 価	<p>【評価】 【原因】 【対応】</p>
3 外部 環境	<p>◎機会 【政治】国の子育て・教育政策の進展【社会】情報化社会の進展【市民】子育て・教育に対する意識の高さ 【地域】地域歴史文化の再認識</p> <p>▼脅威 【地域】人口減少【市民】少子高齢化、核家族化【競争】近隣市町の子育て・教育分野の充実【環境】新型コロナウイルス感染症の拡大</p>
4 内部 環境	<p>○強み 【使命】使命が明確になり組織力の発揮が可能【政策】子育て・教育施策の充実【計画】施設個別計画が策定済【協働】指定管理者、地元団体などとの協力体制が充実</p> <p>▽弱み 【市民】政策における市民起点の浸透不足【計画】人口減による施設の統廃合の推進【人材】専門職の後継者不足【経費】施設維持整備の予算確保</p>
5 重要 経営 課題	<p>【子育て】日本一子育てをしやすいまち 【教育】0歳からの一貫した教育環境づくり</p>
6 部の 経営 体制	<p>・所管課：教育総務課、学校教育課、社会教育課、こども育成課、学校給食センター、生涯スポーツセンター、保育所・こども園、小中学校・義務教育学校</p> <p>・人員：183人 部長職3人、管理職10人、保育士69人、調理員35人、指導補助員（ALT含む）15人、校務員11人、その他専門職（文化財、指導主事、保健師等）13人、事務職27人</p> <p>・予算：1,903,732千円</p>

7 部の 経営 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・重要事業達成率：100% ・各施設利用者数：元年度比100%以上 ・各区種催し参加者数：元年度比100%以上 ・各種助成制度申込者数：元年度比100%以上 ・改善提案：各課2件以上 ・残業時間数：2年度比90%以下
---------------------	---

8 部の 経営 方針	<ul style="list-style-type: none"> 【市民】 市民からの信頼度のさらなる向上 【経営】 教育、子育て環境の格差是正の推進 【政策】 デジタル社会に向けた取組の充実 【価値】 政策における更なる独自性強化による市民評価の向上 【協働】 市民との協働の積極的活用による地域力の拡大 【人材】 後継者の育成、特に専門職の育成 【改善】 アフター・コロナ社会に向けた取組の充実 【財政】 安定的な財源の確保 【計画】 施設の計画的な維持管理の推進
---------------------	---

<p>9 部の 重要 政策 の取 組内 容</p>	<p>【新規】子育て応援給付金の支給 目標：スムーズな制度の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅で育児を行っている保護者に給付金を支給し、多様な保育環境を支援する。 <p>【新規】デジタル社会に向けた取組 目標：7事業を関連部署と連携し実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間企業等と連携し、子どもから高齢者まで全ての年代に対するワークショップなどを開催。 <p>【新規】土曜学習教室の開催 目標：4地域で学校運営協議会との協働による開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭の事情にとらわれることなく、子どもたちの学びたい意欲、夢に向かって頑張ろうとする意欲を高めていく場「土曜学習教室」を創出する。 <p>【新規】スーパーアスリート事業 目標：参加者アンケート「前向きになった」80%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でこれまでどおりのスポーツ活動が困難になっている。スーパーアスリートによる実技講習を実施し、市民・子供たちにスポーツ継続へのモチベーションの向上を図る。 <p>【拡大】保育料の完全無償化 目標：待機児童0人、利用者満足度80%以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国が実施している保育料の無償化の対象となっていない0～2歳児の子どもの保育料を無償化し、子育て世代の経済的負担を軽減する。 <p>【拡大】サポート教室の充実 目標：利用回数の前年比100%以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰一人としてとりのこさないため、サポート室の充実を図る。(開催場所の拡充、WiFi環境整備、通室経費補助) <p>【拡大】文化財の保護・整備に向けた取組 目標：地元団体との協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八木城跡整備事業における駐車場用地の確保、青谿書院敷地内の危険建物の撤去 <p>【拡大】学校給食費負担軽減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の学校の給食費の負担軽減の継続と、特別支援学校通学生の給食費に係る負担軽減を図る。 <p>【強化】GIGAスクール構想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル社会の到来、アフター・コロナ社会を見据えて、タブレットを活用した新しい教育への取組 ・スマートフォンやSNSなどのトラブル防止に向けて、情報モラル教育教材（DQ）を導入 ・GIGAスクールサポーターの活用 <p>【強化】新型コロナウイルス感染症対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策用備品及び消耗品整備 <p>【強化】学校給食における地産地消の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜等の地産地消率を30%以上にする。 <p>【強化】衛生管理の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HACCPに基づく衛生管理を徹底し、安全に学校給食を提供する。 <p>【強化】学童クラブの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化している施設の学童クラブを学校の空き教室への移転 <p>【改良】イヌワシ駅伝大会 目標：参加チーム50以上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アフター・コロナ社会を見据えて、参加者を市民のみとし開催する。 <p>【改良】成人式の在り方 目標：参加率90%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により延期した「令和3年成人式」と「令和4年成人式」について、アフター・コロナ社会を見据えた内容の見直し。 <p>【改良】食育推進の調理番組 目標：月に1回の放送</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おうちでつくろう学校給食」について意見を反映させながら改良していく。 <p>【廃止】下記の事業については廃止する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・義務教育学校（関宮学園）開設事業の終了 ・想像力開発支援事業補助金
---	---

<p>10 経営 の仕 組み に関 する 取組 内容</p>	<p>【政策】 ◆政策形成（立案・実施・評価）の強化／これにより市民満足の向上に結びつく政策の改善提案を各課において、2案を策定する。</p> <p>【組織・業務】 ◆関係組織との協働／スポーツ・イベントなど関係団体との協働事業に当たっては、来場者の安全確保と円滑展開を実現する。 ◆課長会議の開催／課長会議を原則、定例教育委員会終了後に開催するとともに、協議の必要に応じて随時開催し、市民のニーズや政策の進展に応じた迅速な対応を行う。</p> <p>【能力】 ◆人材育成の強化／人材育成基本方針に定める人材育成制度の活用やO J Tの強化等により、部職員の市民起点の人材育成を進める。特に専門職の育成に努める。</p> <p>【情報】 ◆情報提供の拡充／広報紙やケーブルテレビを通して、各施設、各催しの情報を発信し、利用者数、参加者数の増加を図る。 ◆情報共有の推進／朝礼、定期的な課内会議等で職員間の情報共有を進める。</p>
--	---